様式第１号（第１５条関係）

入　札　公　告

平成 25 年 5 月 21 日

地方自治法第 234 条第１項の規定に基づき、一般競争入札により物品等の請負に係る契約を締結するので、地方自治法施行令第 167 条の 6 及び勝山市契約事務規則第 7 条の規定により次のとおり公告する。

勝山市長　山　岸　正　裕

入札案件番号		4006	
入札件名（物品等名）		消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）	
納入場所		勝山市消防署	
物品等概要		消防ポンプ自動車ＣＤ－１型（低床４ＷＤダブルキャブ）に別紙仕様書内容の艤装を施し、仕様書内資機材を搭載する。	
参考商品		なし	
納入期限		平成 26 年 1 月 31 日(金)　まで	
その他の契約事項		・仕様・規格を満たす物品等での入札を可能とする。(一部当本部の現場活動方針により同等品を認めない物品有り） ・当該案件は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和 39 年勝山市条例第 9 号)第 2 条に該当し落札後に仮契約を締結するものとする。この場合においては、議会の議決を得たときに限り、当該仮契約を本契約とみなす。 ・仮契約の締結後、議会の議決までの間に、仮契約を締結した契約相手方が勝山市から入札参加資格の制限又は指名停止若しくは指名除外を受けた場合は、当該仮契約を解除し、本契約を締結しないことができる。この場合においては、市は、当該契約の解除につき、一切の損害賠償の責めを負わない。	
入札区分		本件物品等は、開札後に入札参加資格の有無を確認する条件付き一般競争入札事後審査型であり、郵便入札対象案件である。	
入札参加条件		次に掲げる条件をいずれも満たしている者	
	資格	・平成 25･26 年度勝山市物品等競争入札等参加資格者として物品等の品目が「車両類－特殊車両」で登録されていること。 ・その他の資格要件については、入札説明書のとおり。	
	営業所等	福井県内に本店又は支店等を有していること。	
	納入実績	公告日の過去 15 年以内消防ポンプ自動車の納入実績があること。	
	許可免許等	なし	
	人的関係	同一の者が複数の業者の役員を兼ねている場合には、１者のみ応札可能とし、重複して応札した場合はその全てを無効とする。	
	その他	なし	
入札説明書等の交付・入札書の提出		【入札説明書の交付】	勝山市ホームページからダウンロードできる。 (http://www.city.katsuyama.fukui.jp/)「入札情報」
		【入札書提出期限】	平成 25 年 5 月 28 日(火)
		【入札書提出先】	〒911-8799　勝山郵便局留
仕様書等		【閲覧期間】	公告日から平成 25 年 5 月 27 日(月)
		【閲覧場所】	勝山市民会館 2F 設計図書閲覧室
仕様書等に対する質疑等		【質問書の提出期間】	公告日から平成 25 年 5 月 24 日(金)
		【回答書の閲覧期間】	仕様書等閲覧期間内とする。
		【閲覧及び配布場所】	勝山市ホームページ又は設計図書閲覧室にて掲示
同等品の取扱		あり（一部当本部の現場活動方針により同等品を認めない物品有り）	
入札参加資格確認申請書の提出		【申請書等の提出】	落札候補者は、開札日の次の日の正午までに契約担当課に提出すること。
		【申請書等の提出場所】	下記の契約担当課に同じ
開札日等		【開札日等】	平成 25 年 5 月 30 日(木)午前 9 時から随時開札
		【開札場所】	勝山市役所 3 階第 2 会議室
入札参加資格確認結果及び入札結果の通知		参加資格確認後、落札者決定通知書により通知する。	
物品等担当課		勝山市長山町 2-2-27　勝山市消防署　庶務管理Ｇ　℡ 0779-88-0400	
契約担当課		勝山市元町 1-1-1　勝山市総務部総務課　契約検査・管理防災 G　℡ 0779-88-1116	

消防ポンプ自動車仕様書

第１　総　則

１　目　的

この仕様書は、勝山市消防本部（以下「消防本部」という。）が平成２５年度において整備する消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（以下「消防車」という。）の仕様について定める。

２　関係法令の遵守

消防車は本仕様書に定めるほか、次の関係法令等に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであることとする。

また、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防車両の安全基準について」の項目を満たすこと。

（１）　動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令(昭和６１年自治省令第２４号)
（２）　道路運送車両法(昭和２６年法律第１８５号)
（３）　道路運送車両法の保安基準(昭和２６年運輸省令第６７号)
（４）　その他関係法令等

３　製作上の疑義等

（１）　受注者は、消防本部において、提出図書の審査承認を受けた後でなければ製作をしてはならない。
（２）　本仕様に明記されていないものは、消防本部と事前に綿密な打ち合わせを行い、障害が生じないようにしなければならない。
（３）　受注者は受注後における標準仕様の変更または本仕様に疑義を生じたときは、消防本部と協議し、承認を受けること。

４　契約の範囲

（１）　受注者は、新規登録検査ならびに重量税、自動車損害賠償保険料、リサイクル料等一切の手続きを代行すること。ただし、重量税、自動車損害賠償保険料、リサイクル料、登録手数料については、発注者が負担する。
（２）　受注者は、引渡後、直ちに末梢登録申請を行い、処理に応じた証明書の写しを提出すること。ただし、廃車手数料については、発注者が負担する。

5　提出書類

（１）　受注者は契約締結後、製作に先立ち消防本部と仕様についての打ち合わせを行い、次の書類を各３部（１部返却用）提出し、消防本部の承認を得た後、艤装を開始するものとする。

（ア）　製作工程表
（イ）　製作承認図（外観５面図とし、正面、両側面、上面、後面）
（ウ）　シャシ諸元明細書
（エ）　シャシ組立図
（オ）　車体骨組図
（カ）　フレーム補強図（補強材料及び寸法付き）
（キ）　ポンプ架装（配管含む）及び動力駆動図
（ク）　全電装品電気系統図及び配線図
（ケ）　ヒューズ、電球の数量及び容量一覧表
（コ）　キャブ内艤装図及び電装品等取付図
（サ）　取付品、付属品の製作図（カタログ等）及び一覧表（メーカー名及び形式）
（シ）　付属品取付図
（ス）　各装置機構図及び同説明書
（セ）　その他、消防本部が指示するもの

（２）　納入時に、次の書類を製本のうえ、提出すること。

（ア）	完成図（最終艤装３面図、電気配線図）	３部
（イ）	改造自動車計算書 ・艤装重量、車両重量及び車両総重量の加重分布計算書 ・最大安定傾斜角度計算書	各２部
（ウ）	自動車取扱説明書	１部
（エ）	自動車整備記録簿	１部
（オ）	自動車検査証の写し	１部
（カ）	緊急自動車指定・届出確認証	１部
（キ）	取付品、付属品取扱説明書	各２部
（ク）	外注先一覧表 （取付品及び付属品の品名、数量、会社名、所在地、電話番号等を記入）	２部
（ケ）	ポンプ取扱説明書	２部
（コ）	ポンプ性能試験成績表及び国家検定書	２部
（サ）	工程写真（完成写真含む）	２部
（シ）	各種保証書	各１部
（ス）	納品書、納品明細書	各１部
（セ）	その他消防本部が指示するもの	

6　検査及び取り扱い説明

検査については、消防本部が立会いの上検査をする。

（１）納入前検査（中間検査）

外部塗装前で、取付品、付属品を取り付けた状態で実施し、主要部分の組立状況、材料及び各部の寸法等の検査を実施する。

（２）納入検査（完成検査）

艤装、塗装、ポンプ性能、取付品及び付属品等すべての検査を行うものとする。

（３）取扱説明

納入後、消防本部において、職員に車両の構造及び資機材の取扱い、保守管理方法等の取扱説明を最低２回に分けて実施すること。

なお、取扱い説明を実施するための担当者派遣における諸経費の一切は、受注者が負担するものとする。

7　納入期限

平成２６年１月末日以内とし、場所は消防本部とする。

8　保証期間

消防車の保証期間は、納入後２年間とする。ただし、保証期間経過後であっても設計、製作、材質の不良に起因するものは、無償で交換又は修理を行うこと。

9　補　足

（１）　納入は、各部の点検整備、燃料を満タンとし、清掃手入れを実施のうえ納入すること。

（２）　エンジンキー等の鍵類は、全て１種３組とする。

（３）　本仕様書に、記載されている指定するもの以外の全ては、新品を受注者が納入し、取り付け及び艤装しなければならない。

（４）　本仕様書は、作業の大綱を示すものであり、本仕様書に記載なき事項といえども、当然必要と認められるものについては、受注者の負担において施工する。

第２　仕　様

1　一般的事項

（１）　主要諸元および主要装備については、本仕様書において指定したもの以外は、車両メーカーの最新の公表によるものとする。

（２）　車体の構造は、十分な強度とバランスを有する走行安定性の良いものであること。

（３）　各装置の取り付けは、すべて点検補修を考慮し、錆びにくい材質を使用し、分解整備等が容易なように、可能な限りボルト締めをするものとする。

（４）　車体は、常時登録された車両総重量の状態において、十分に耐えうるものであること。

（５）　標準装備品及び付属品はシャシメーカー固有のものとする。

（６）　製作に使用する全ての材料は、ＪＩＳ規格及び消防規格に基づき精選されたものを使用すること。

（７）　寒冷地の仕様は、次のとおりとする。

（ア）　バッテリー保護のための処置（カバー取り付け）

（イ）　防錆処置（耐融雪剤）

（ウ）　凍結防止等のためのボディー及びステップの隙間艤装

（エ）　防雪対応電子サイレン

（オ）　資機材保護用アルミシャッター

（カ）　不凍液注入装置

（キ）　オイルパンヒーター ｛キャブ運転席側にオイルパンヒーター用メタルコンセント(キャップ付)を取り付けること。なお、配線及び結線部は露出の無いようにし、漏電及び防水対策を十分に取ること。バッテリー充電器兼用とし、マグネット式とする。｝

２　シャシ関係

（１）　シャシは、自動車メーカーがＣＤ－Ｉ型として公表した車両（３.０ｔ級シャシ）で最新のものとし、諸元は次のとおりとする。

（ア）　駆動方法　　四輪駆動車（低床型）

（イ）　ホイルベース　　２,７００mm以上

（ウ）　エンジン　　ディーゼルエンジン　１４０ｐｓ以上

（エ）　トランスミッション　　マニュアルミッション

（オ）　最小回転半径　　６.４ｍ以内

（カ）　キャブ　　乗車人員５名以上のダブルキャブ（４ドア付）

（キ）　キャブチルト装置

（ク）　アンチロックブレーキシステム

（ケ）　ＳＲＳエアバック

（コ）　パワーステアリング

（サ）　パワーウインドウ

（シ）　純正エアーコンディショナー

（ス）　油温計、アワーメーター

（セ）　バッテリーメインスイッチ　ＯＮ／ＯＦＦスイッチ

（ソ）　ディスチャージヘッドライト及びフォグランプ

（タ）　牽引用フック（車両前後各１箇所、抜止付）

（チ）　泥除けカバー（４輪）
（ツ）　ゴム製フロアマット（全席）
（テ）　サンバイザー、サイドバイザー（４ドア）
（ト）　ナンバーフレーム
（ナ）　電動格納ドアミラー（左側）
（ニ）　大型アウターミラー及びアンダーミラー
（ヌ）　フロントバンパー
（ネ）　デパーチャーアングル（別途協議）
（ノ）　ラジアルタイヤ（ホイル付）
（ハ）　ナビゲーション　ＨＤＤ式（バックモニター兼用）
（ヒ）　ラジオ（ＡＭ／ＦＭ）

３　燃料タンク及びバッテリー、インバーター関係

（１）　燃料タンクの容量は６０ℓ以上とし、タンク位置は原則として、車両右側に設置し、給油が容易に行える構造とすること。

（２）　バッテリーは１２Ｖ１００ＡＨ以上×２個とし、点検、交換が容易に行えるように、配線部分は蝶ネジ式とし、引き出し方式で上面に保護カバーを取付けること。

（３）　オルタネーターは、本仕様書における電装装置に、十分対応できるものとすること。

（４）　ＡＣ１００Ｖの電源が供給できる、３００Ｗ以上のインバーター（ＤＣ－ＡＣ）を活動に支障のない位置に設置し、室内にＡＣ－１００Ｖ用（２口）コンセントを設けること。

（５）　車両メインスイッチは、運転手が操作しやすい位置に設けること。なお、メインスイッチＯＮ時、無線を使用できること。また、車両メインスイッチをＯＦＦにした場合でも、時計等のメモリー機能を損なわない構造とすること。（スイッチ位置については、別途協議）

４　ポンプ関係

（１）主ポンプ

（ア）　動力消防ポンプ規格省令に定めるもので、Ａ－２級以上のポンプ性能を有すること。

（イ）　ポンプメタル部及びグランドパッキン部にグリースを注入することが可能な装置を設けること。また、ポンプ側からの水圧により水が浸入しない構造とすること。

（ウ）　振動等により、緩みが生じないようにシャシフレームに確実に固定すること。

（エ）　主ポンプ排水装置は、ポンプレバーに連動して自動的に排水できること。

（２）ポンプ操作装置

（ア） ポンプ室両側の操作し易い位置に、真空ポンプ操作ボタン及び、ポンプスロットルレバーを設けること。

（イ） ポンプスロットルレバーは、凍結による不具合や、経年劣化がないものとし、左右とも右回転にてエンジン回転が上昇することとする。

（ウ） 放口、筒先の使用状況に関係なく、最低０．１５ＭＰａからフルスロットル間の任意の圧力において設定調整ができる、自動調整圧力機能を備えること。

（３）真空ポンプ

（ア） 真空ポンプは、スペースの有効利用及び軽量化の観点から、圧縮空気泡消火装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用して、真空状態を形成するエゼクタ―方式真空発生装置とすること。

（イ） 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。動力の接・断は、電磁クラッチによる構造とし、スムーズな伝達が行えること。

（ウ） 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作は、ポンプ室右側に設けられた別回路の手動操作装置にて行えること。

（４）ポンプ配管

（ア） 吸水配管

・配管は７５mm以上とすること。

・車両両側に７５mmボールコック（ストレーナ付）及び確認窓付きエゼクター装置を設けること。

（イ） 中継口配管

・配管は６５mm以上とすること。

・中継口は６５mmボールコックとし、車両両側に設け、口元にストレーナを取り付けること。

（ウ） 吐水配管

・配管は６５mm以上とすること。

・車両両側に各２個６５mmボールコックを設け、先端に差込式放口媒介金具を設けること。なお、差込式放口媒介金具は６５mmが各１個、６５mm・５０mmのマルチが各１個とする。

・ボールコックドレンを設けること。

（エ） 冷却水配管

・冷却水配管は途中に、内部の視認可能なボールカップ付ストレーナを設け、予備回路付とすること。

5　ポンプ動力伝達装置

（1）　ポンプの駆動は、シャシメーカー仕様のＰＴＯとすること。

（2）　ＰＴＯの切替えスイッチは運転席に設け、トランスミッションがニュートラル以外の位置にあるときは、警報音を発すること。

6　計　器

（1）　両側のポンプ操作装置間近に、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・連成計及び電子式液晶自動揚水モニター付計器盤を取り付けること。

（2）　連成計はリタード式とすること。

（3）　安全確保のため、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・連成計は夜間においても確認できる透過光式を用いること。

（4）　コック及びエゼクターの開閉状況等を視認することができること。

（5）　計器類は、凍結による破損をしない構造とすること。

7　圧縮空気泡消火装置

（1）　圧縮空気泡消火装置は、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火ができるものとする。

また、発泡倍率が５倍～１０倍の消火・火炎鎮圧用湿器式泡（ウエット泡）と、発泡倍率が１６倍～２０倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の２種類の泡について、泡管そうを用いることなく吐出可能なものとすること。

圧縮空気泡消火装置は、水ポンプ装置から高い圧力を受けても、０．７MPa に減圧される構造とすること。

圧縮空気泡消火装置は、日本消防検定協会が定めた「圧縮空気泡消火装置の技術基準」に準拠する製品であり、(財) 日本消防設備安全センターの性能評定合格品とすること。

（2）　性　能

最大水流量６００L/min 以上、最大空気吐出量３,０００L/min 以上とし、最大吐出量３,６００L/min 以上とすること。

２線同時に放射しても十分な吐出量が得られること。なお、泡の吐出量を確認するための泡流量計を左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に設けること。

（3）　操作方法

（ア）　本装置の操作は、左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内で可能なこととし、タッチパネル式にて操作ができること。

（イ）　湿式泡と乾式泡の切り替え操作は、ディスプレイ内にて、ワンタッチで行えるものとすること。なお、切り替え及び変更操作は、放水中でも可能であること。

（4）　安全機能

（ア）　泡消火原液の供給において、何らかの異常が発生した場合は、隊員の安全確保のため、圧縮空気と水のみの放射に自動的に切り替わるようにすること。

（イ）　圧縮空気泡消火装置運転時においての適正な回転数にスロットルを上げた後においては、スロットルを上げようとしても、規定回転以上には回転が上がらないよう、筒先要員安全確保のためのスロットル過回転防止装置を設けること。

（ウ）　タンク吸水コックは電動式とし、タンク給水コックを開いた状態で、中継コックもしくは吸水コックを開くと自動的にコックを閉めるインターロック機能を備えること。

（５）　コンプレッサー

（ア）　コンプレッサーの潤滑油は、補助冷却器により冷却する構造とすること。なお、補助冷却器は、圧力水の一部の水により冷却されるものとすること。

（イ）　コンプレッサーは、メンテナンスを考慮し、国産製品とすること。

（ウ）　コンプレッサーは、スペースの有効利用の為、真空ポンプ兼用とすること。

（エ）　コンプレッサーの油温上昇を警告するブザー等を取り付けること。

（オ）　コンプレッサーの冷却に使用した水は、水槽へ還流するものとする。また、切り替えにより、車外にも排出できる構造とすること。

（６）　混合装置

圧縮空気流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して混合比設定する電子式比例混合式とする。混合比は、液晶ディスプレイ内でワンタッチにて変更可能なこと。なお、混合比の変更は、放水中でも可能なこと。また、原液濃度の設定は、０．３％～１．０％の８段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で設定ができること。

（７）　消火薬剤

泡原液（クラスA）は、環境に優しい環境保全型石鹸系消火剤とし、ポンプ室内に交換容易なポリタンク（２０Ｌ）式の原液容器を設置すること。消火作業中の泡原液の補給を容易に行えるよう、固定型の原液槽は設けないこと。車体に専用補給電動ポンプを設け、容易に原液容器への補充が、外部から行えるものとすること。

（８）　本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右の水ポンプ吐水口を使用し、コック操作により、容易に泡放射と水放水の切り替えが可能な配管構造とすること。なお、隊員の現場での操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口をセパレートで設ける方式は不可とする。

（９）　圧縮空気泡消火装置（コンプレッサー、混合装置等）は全てポンプ室内に収納し、後部シャッター内等、各資機材棚のスペースを減少させることなく、ホースや資機材を積載できること。

（10）　水　槽

（ア）　形状は、車両の幅員及び車高を最大限に利用した角型で、ポンプ室上部の資機材棚を確保することができる形状とすること。

（イ）　振動防振等により損傷、緩み等を生じないよう車両に固定し、水圧（０．０３Ｍｐａ）に対して、変形及び水漏れのない堅ろうな構造とし、材質は永年使用を考慮し、腐食に強い FRP 製又は、SUS 製とすること。

（ウ）　タンク吸水コックにより、水槽からポンプへ送水することができること。（操作部車両両側）

（エ）　容量は、６００リットル以上とする。

（オ）　配管は、緩衝装置を設けること。

（カ）　水槽への補給口（６５ｍｍ差込雌）を車両両側に設け、逆止弁を取り付けること。（差込キャップ付）（補給口が砂塵で汚れないよう処理すること）

（キ）　水槽に、オーバーフローパイプを設けること。

（ク）　水槽上部にマンホールを設け、内部の点検及び清掃が容易に行える構造とすること。

（ケ）　水槽上部のマンホールは、天板部の歩行に支障がないようにすること。

（コ）　水槽に、タンク水の補給が可能な水道ホース接続口を取り付けること。

（サ）　ドレンバルブを設け、水槽内の水を完全に排水できる構造であること。

（シ）　ポンプ操作部付近に、タンク水量計を設けること。

（ス）　積載水が、一定値に減じた場合に、警報を発する残水警報装置（解除スイッチ付）を設けること。

８　車体艤装

（１）全　般

（ア）　車体艤装は、堅ろうで十分な耐久性を有し、骨組みは完全に自立する構造とし、側板等に直接大きな荷重がかからない艤装とし、通路等の床面強度は、外力を垂直方向に加えた場合に永久変形が生じない構造であること。

（イ）　艤装に使用する材料は、すべて防錆加工済みの材料を使用し、冬季の融雪材等による錆の発生を防止するため、シャシ部分、ボディー裏側部分、キャブドアー内側部分等に、防錆加工を施すこ

と。

（ウ）　洗車時等の水切りを良くし、ボディーとステップとの取り付け部に１０ｍｍ程度の間隔を設け、ステップ等の凍結及び錆等を防止するように艤装すること。

（エ）　ステップ等乗降時に接触する部分及び、資機材等が接触し、塗装が剥がれる恐れのある部分については、アルミ製縞板等を用いて艤装すること。

（オ）　外装板およびステップ等の縁は折り曲げ加工を施すこと。

（カ）　艤装材料の厚さは下記の示す以上の厚みを有する材料で、堅ろうに艤装すること。

・側板　2.0ｍｍ以上
・サイドエプロン　1.2ｍｍ以上
・フェンダー　1.0ｍｍ以上

（キ）　車両の完成寸法は、次のとおりとすること。

・全長（完成寸法）　6,000ｍｍ以内
・全高（完成寸法）　3,200ｍｍ以内
・全幅（完成寸法）　2,000ｍｍ以内

（ク）　荷台左右各２面及び後部に、１面手動式オールアルミ製バータイプシャッター（シルバー）を設置し、その全てリミットスイッチを取り付け、開閉状態の確認できる表示灯を、キャブ前席上部のオーバーヘッドコンソール等に取り付けること。

（ケ）　各収納庫・資機材棚等、水が溜まりやすい部分は、浸透しない防滴及び、水が貯留しない構造とし、樹脂製スノコ板を設置すること。

（コ）　本契約で購入するものすべてを、安全に収納できるように艤装すること。

（２）キャブ

（ア）　キャブ前面中央部に、消防団章（クロムメッキ製）を脱着が容易なように、強固に取り付けること。(別途協議)

（イ）　フロントグリルはクロムメッキ製とし、デイライトとして高輝度ＬＥＤ（ブルー）を２個設置すること。

（ウ）　乗降時に便利な位置に、ステンレス製の手摺及び取っ手を必要数設置すること。

（エ）　清掃等が容易なように、フロントガラス（外側）上部及び下部に手摺を設けること。

（オ）　フロントバンパーは前出し式とし、上面はアルミ製縞板とすること。

（カ）　キャビンの助手席側リアピラー付近に、旗立て装置をステンレス製で取り付け、旗竿が蝶ネジ等で容易に固定できること。なお、

訓練旗、警戒旗、旗竿を付属し、固定ネジ等の脱落防止処理を施すこと。（別途協議）

（キ）　キャブは、ＦＲＰ複合型ハイルーフキャブとすること。

（ク）　全席に、難燃性のビニール製シートカバー（厚手）を取り付けること。

（ケ）　後部座席前方に、取り外し可能な握り棒（可動フック５個付）を設けること。なお、握り棒には、保護カバーを取り付けること。

（コ）　後部座席室内高は、最大限の高さを確保すること。また、後部座席上部前方側に、最大限の収納スペースを設け、携帯投光器等収納できること。また、間口には落下防止ネットを取り付けること。

（サ）　後部座席前方に、地図入れを取り付けること。

（シ）　後部座席下部に、収納箱を設けること。（左右扉付）

（ス）　後部座席後方スペースは張出式とし、空気呼吸器積載装置（クイックホルダー、背もたれ付）３基を取り付けること。なお、空気呼吸器面体掛け用フックを必要数設け、面体にあっては袋に入れて、フックに掛けておけること。

（セ）　助手席及び後部座席両側上部に、フレキシブルタイプのマップランプを取り付けること。（後部座席両側上部については、コンソール埋め込み式可動ランプでも可）

（ソ）　キャブ室内灯（天井埋め込み角型、ＬＥＤ）を取り付けること。

（３）ポンプ操作部

（ア）　ポンプ操作部を、荷台前方両側のシャッター内に装備すること。

（イ）　コックの開閉方向は、すべて車両前方を「開」とすること。

（ウ）　機器は、隊員がスムーズに作業ができるように配置すること。

（エ）　吸水ロストレーナ部のメンテナンスが容易にできること。

（４）吸管取付部

（ア）　荷台後方両側のシャッター内に、７５ｍｍ×１０ｍの吸水管（スイベル式）を、延長時に他の操作部に衝撃等を与えないように考慮し、設置すること。なお、シャッター下部にステップ兼用扉を設け、扉内側はアルミ製縞板を張り、扉閉時のロック装置付とし、ステップ兼用扉周囲に、△型黄色の反射テープを張り付けること。（別途協議）

（イ）　下記の資機材を体裁よく、安全に固定できること。（配置については別途協議）

・地上式消火栓開閉金具（左右各１本）
・地下式消火栓開閉金具（左側１本）
・吸管スパナ（左右各１個）
・分岐管（左右各１個）

・枕木（左右各１個）
・マンホール鍵（右側）
・吸管ストレーナー（ちりよけ籠、ストレーナー、オス金具一体式）（左側１個）
・ＣＡＦＳ用ノズル（左右各１本）
・その他（打合せにおいて消防本部が指示するもの）

（５）資機材棚

（ア）　ポンプ室上部に、ホースおよび消防本部使用のホースバック指定数を積載できる様、左右貫通収納スペースを設けること。なお、床面の高さは、積載ホースの載せ降ろしを考慮した高さとし、ポンプ室が確認できるよう扉を設けること。

（イ）　車両両側のリアフェンダーは、ステップ兼用扉とすること。なお、扉内側はアルミ製縞板を張り、扉閉時のロック装置付とし、ステップ兼用扉周囲に、△型黄色の反射テープを張り付けること。（別途協議）

（ウ）　荷台前方下部両側にステップ兼用扉付収納庫を設け、下記の資機材を確実に固定できるような措置を講じること。なお、扉内側はアルミ製縞板を張り、扉閉時のロック装置付とし、ステップ兼用扉周囲に、△型黄色の反射テープを張り付けること。（別途協議）

・ＣＡＦＳ用泡薬剤
・安全帯（支給品）
・ベンケイ（支給品）
・放口媒介金具（支給品）
・その他消防本部が指示するもの

（６）荷台上部

（ア）　荷台上部は、全てアルミ製縞板張りとし、側面に雨水等が浸透しない構造とすること。

（イ）　荷台上部に、張力１００ｋｇ以上のステンレス製環フックを取付けること。（数・位置については別途協議）

（ウ）　荷台上部に、ステンレス製パイプを昇降等に支障ない箇所すべてに設置すること。

（エ）　荷台上部左右の側板を延長すること。なお、延長した側板内側は、アルミ製縞板張りとすること。

（オ）　荷台上部右側に、脱着式のアルミ縞鋼板製収納ボックスを１個設け、構造は下記のとおりとする。（寸法については別途協議）

・クレーンで吊り上げ可能な構造とすること
・内部に緩衝材を設け、スノコ板を敷くこと
・雨水等が貯留・浸透しない構造とすること

・蓋は開けた際にロックするストッパーを設けること

（カ）　下記の資機材を収納すること。

・ラインプロポーショナー（１個）
・泡ノズルアタッチメント（１個）
・高発泡原液（支給品）
・ワイヤーロープ
・耐電手袋、耐電長靴
・防炎シート（支給品）
・予備管そう（支給品）

（７）荷台後部

（ア）　荷台後部に、展開式アルミまたはステンレス製の手すり付はしごを設置し、容易に荷台天井部に上がれるように艤装すること。

（イ）　ホースカー収納部の左右及び奥に、収納スペースを確保し、下記の資機材を設置すること。（別途協議）

・金てこ　　１本（大）
・スコップ　１丁（剣先スコップ）
・軽量空気ボンベ（８，５リットル・６，８リットル兼用）３本
・バルーン投光器一式
・水幕ホース（支給品）
・発電機
・コードリール
・三角コーン
・ロープ、カラビナ
・消火器

９　装備艤装

（１）ホース延長資機材および積載装置

（ア）　ホース延長用資機材は、ブレーキ付加納式とし荷台後部シャッター内に設けること。また、粉塵及び雪等が巻き上げによって、シャッター内へ進入しない構造とすること。

（イ）　ホース延長用資機材の車体への固定は、安全確実で、かつ、迅速に脱着が可能であること。

（ウ）　ホース延長用資機材は、６５ｍｍホース８本以上収納でき、その上部に、５０ｍｍホース３本以上を落下防止の措置を講じて積載することが可能であること。

（エ）　ホース延長資機材の側面等に、下記の資機材を確実かつ容易に固定できるよう、積載すること。

・分岐管（１個）
・無反動型管そう（２本）

・ガンタイプノズル（２個）

（オ）　ひき手は、厚肉鋼管のＴ字型で折りたたんで、収納することができる構造であること。また、車輪についても折りたたみ可能なものとすること。

（２）動力昇降装置

ホース延長資機材装置の昇降に動力昇降装置を取り付けること。

（ア）　昇降のスイッチは、ホース延長資機材装置の固定金具と連動し、固定金具を解除したときのみ作動すること。（誤作動防止機能）

（イ）　昇降スイッチは、防水性とし、荷台後部右側で容易に操作できる位置に取り付けること。

（ウ）　動力装置が作動しない場合に、手動で延長資機材積載装置を昇降することができること。

（３）はしご昇降装置

（ア）　三連はしごを、荷台上部左側寄りに、固定装置により安全確実に設置すること。

（イ）　三連はしごの上部に、折りたたみ式はしごを積載すること。

（ウ）　後部引き出しバランスダンパー装置にて容易に積みおろしができること。

（エ）　はしご昇降装置に、竹す（支給品）を、容易に取り出し可能なように設置すること。（別途協議）

（４）積載品の固定装置

（ア）　取付品、取付装置、積載品、附属品については、特に指定したものを除きすべて固定装置等を設け、走行時に支障のないように艤装すること。（別途協議）

（イ）　バンドを使って固定する場合、樹脂製のワンタッチ式、もしくはマジックテープ式とする。

（５）電装装置

（ア）　赤色警光灯及び標識灯を、ＦＲＰ複合型ハイルーフキャブに設置すること。

（イ）　下記の箇所にＬＥＤ赤色点滅灯を設置すること。なお、赤色警光灯と連動で点灯、消灯すること。

・キャブ前面（２灯以上）

・荷台上部左右の延長した側板（左右各１灯以上）

・荷台後部（左右各１灯以上、保護枠付）

（ウ）　下記の箇所にＬＥＤ作業灯を設置すること。また、スイッチは各面の操作しやすい位置に取り付けること。

・ＦＲＰ複合型ハイルーフキャブ（左右各１灯以上）

・荷台上部左右の延長した側板（左右各２灯以上）

・荷台後部（左右各１灯以上）

（エ）　車両各収納庫内に、夜間でも十分照度を確保できる庫内灯（ＬＥＤ）を必要数設置すること。なお、シャッター等の開閉操作と、連動して点灯するものとする。

（オ）　路肩灯（ＬＥＤ・保護枠付）、サイドマーカーランプ（黄色、ＬＥＤ）を、左右後輪付近の適当な位置に設置すること。なお、点灯は車両スモールランプと連動すること。

（カ）　荷台右側前方に、ポールが伸縮し、照明部分の旋回・俯仰により照射位置を自在にコントロールできる照明灯（ＬＥＤ）を設置すること。なお、車体上部に上らなくても操作可能なようにすること。（スイッチは操作しやすい位置に取り付けること。）

（キ）　適正なエンジン回転になるように、アイドルアップ装置を取り付けること。（急激な圧力上昇等、消防活動に支障をきたさない構造であること。）

（ク）　電子サイレンアンプを、前部座席上部オーバーヘッドコンソールに設置すること。（音声合成装置については別途協議）

（ケ）　下記の電装装置を制御するスイッチを、前部座席上部オーバーヘッドコンソールに設置すること。なお、常時ＯＮにしておきたいスイッチのことも考え、メインスイッチに左右されない、機械式とすること。（ボタンの配置等は別途協議）

・モーターサイレン
・後部ＬＥＤ赤色点滅灯（主に切スイッチとして）
・ＬＥＤ作業灯（各ＬＥＤ作業灯同一連動）
・標識灯
・ボックス灯（各資機材収納庫）
・後退警報
・外部スピーカー切替えスイッチ

（コ）　電動モーターサイレンを設置すること。

（サ）　後退警報ブザーを装備すること。

（シ）　ヒューズボックスを、キャブ内の点検、交換のしやすい場所に設置し、ヒューズの各名称および容量を明記すること。

（ス）　各装置のリレーは、点検可能な位置とすること。

（セ）　各スイッチ類は、全て銘板を付し、車両外観部のトグルスイッチについては、保護枠を取り付けること。

（６）消防専用電話装置

（ア）　無線機本体（支給品）を、キャブ内前席上部オーバーヘッドコンソールの指定箇所に取り付けること。

（イ）　アンテナ及び配線等（車外送話機用含む。）は、新品を使用するものとし、アンテナは下部が変形の少ないスプリング式とする。

（ウ）　キャブ上部に、無線アンテナを取り付け、配線用穴を設け、内

張り内を通ってケーブルを配線すること。なお、内張りは各配線の点検が容易に行える構造であること。(ファスナー開口部等)

（エ）　室内（１箇所）および荷台（２箇所）に、送受話器と無線スピーカーを設置すること。なお、室内スピーカーは、ボリュームコントロール付とし、オーバーヘッドコンソールに取り付けること。（取付位置は別途協議）

（オ）　無線電波障害防止の措置を施すこと。

（カ）　無線機のヒューズ取り付け位置は、メンテナンス、交換が容易にできる位置に設けること。

１０　塗装および文字記入

（１）　ステンレス及びアルミ以外の金属は、全て塗装又はメッキを施し、露出部分がないようにすること。

（２）　各塗装及びメッキ箇所は、十分に素地調整を行った後、防錆加工を施して、耐久のある（タフコート等）塗装を行い、十分乾燥後に艶出し仕上げを行うこと。

（３）　塗装の色は、次のとおりとする。

（ア）車体外側（ホイールを除く）　　朱色
（イ）車体下回り　　黒色アンダーコート塗装
（ウ）資機材収納ボックス　　灰色

（４）　各配管の塗装は、法令の規定に基づくものとする。

（５）　各塗装は、３回以上塗りとする。

（６）　記入文字は、はがれにくい反射材を使用し、左読みとする。(記入箇所および記入文字の詳細は別途協議)

記入箇所	記入文字等	備　考
後部座席ドア（両側）	勝山市消防団	白色・丸ゴシック体
標識灯	勝山	黒色・丸ゴシック体
キャビン前面左側	勝山７	白色・丸ゴシック体
キャビン屋根	勝７	白色・丸ゴシック体
後部シャッター部分	福井県 勝山市消防	黒色・丸ゴシック体
吸管取付け部下部	福井県	白色・丸ゴシック体
シャッターデザイン（両側）	別途協議	―

１１　取付品および取付装置等

取付品および取付装置等は、次によるものとし、安全確実に取り付けられており、かつ、容易に取り外しができるものであること。なお、各項目で品番等を記載してあるものについては、同等品以上の性能、機能を有するもので、消防本部の承認を得た場合は変更可能とする。

消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）取付装置関係

品　名	備　考
（１）取付品、取付装置	
（２）加算仕様	寒冷地仕様
（３）付属品	
（４）その他の付属品	

（１）取付品および取付装置

Ｎｏ	品　名	内　容	数　量
1	ポンプ圧力計	ポンプ室左右各１個（透過光式）	２個
2	ポンプ連成計	〃	２個
3	エンジン回転計	シャシ純正品	１個
4	エンジン油温計	シャシ純正品	１式
5	赤色警光灯	ＦＲＰ製ハイルーフに体裁よく	１式
6	電子サイレンアンプ	大阪サイレン(マイク付) Mark－１０　ＴＳＫ５１０２Ｖ	１式
7	照明灯	佐藤工業所 フラッシュボーイＬＥＤ （ＳＰ－Ｑ１５） １m程度の伸縮ポール付	１式
8	後退警報器		１式
9	標識灯	ＦＲＰ製ハイルーフに左右体裁よく	１式
10	電動モーターサイレン	大阪サイレン　　５ＳＡ	１式
11	キャブチルド装置	電動油圧式（手動操作可能、落下防止用の支え棒付）	１式
12	オイルパンヒーター	バッテリー充電器兼用、マグネット式、１０mコード付	１式
13	不凍液注入装置	寒冷地対策用	１式
14	作業灯（ＬＥＤ）	大阪サイレン　　ＬＩ－２１ ＦＲＰ複合型ハイルーフキャブ２個 左右側面上部　４個 後部　２個	８個
15	赤色点滅灯（ＬＥＤ）	車両前部、側部 大阪サイレンＬＦ－１０１Ｒ　４個 後部保護枠付 大阪サイレンＬＦ－３１　　　２個	６個
16	庫内灯（ＬＥＤ）	車両各収納庫内 大阪サイレンＬＩＷ－２	必要数
17	車外無線機送話機取出口	１０Ｗ　内・外部スピーカー（内部：音量調整付１個）（外部：２個）	３箇所

（２）加算仕様

Ｎｏ	品　名	内　容	数　量
1	圧縮空気泡消火装置 （ＣＡＦＳ装置）		１式
2	寒冷地仕様	上記（１）№13・14・18	１式

（３）付属品

Ｎｏ	品　名	内　容	数　量
1	吸管	７５mm×１０m スイベル式　軽量ソフト吸管	２本
2	吸口ストレーナ		２個
3	吸管ストレーナ	プラスチック製　各１個 ちりよけ籠、ストレーナ―、オス金具一体式　１個	各１個
4	吸管ちりよけ籠		
5	吸管まくら木	ゴム製	２個
6	吸管ロープ	１０mm×１５m	２本
7	消火栓媒介金具	軽合金 呼称 75mm ﾒｽﾈｼﾞ×呼称 65mm 差込ﾒｽ	１個
8	中継媒介金具	呼称 65mm ﾒｽﾈｼﾞ×呼称 65mm 差込ﾒｽ	２個
9	消火栓開閉金具	地上式　２本・地下式消火栓　１本	３本
10	マンホール鍵	別途協議	数本
11	吸管スパナ		２個
12	管そう	ＹＯＮＥ製　65 ㎜ eーノズルフォルダー無反動管そう型	２本
13	放口媒介金具	65 ㎜ﾒｽﾈｼﾞ×65 ㎜差込ｵｽ 65 ㎜ﾒｽﾈｼﾞ×50･65 ㎜マルチ差込ｵｽ 40 ㎜ﾒｽﾈｼﾞ×65 ㎜差込ｵｽ	２個 ２個 ２個
14	とび口	1800mm（取付位置は別途協議）	２本
15	金てこ	大（取付位置は別途協議）	１本
16	スコップ	剣先スコップ（取付位置は別途協議）	１丁
17	ホース延長用資機材	加納式	１式
18	空気呼吸器	ライフゼム　Ａ１－０８（F） ＣＸ面体サイズ　Mサイズ 面体収納袋付	３式
19	三連はしご	８．７m　鋼製	１脚
20	折りたたみ式はしご	４．８m　鋼製	１脚
21	車輪止	ゴム樹脂性（取付位置は別途協議）	２組

22	消火器	自動車用 ABC 粉末　６Kg	１本
23	分岐管	軽量２レバー式６５・５０mm マルチコネクター	２個
24	ホースブリッジ	樹脂製	２個
25	ガンタイプノズル	ＹＯＮＥ製　５０ｍｍ セレクトオート・Ｇ－フォースノズル	４個
26	泡ノズルアタッチメント	ＹＯＮＥ製 ＭＸ－Ｇフォームジェット	２個
27	ラインプロポーショナー	ＹＯＮＥ製　ＦＰ－６５・４００	１個
28	照明器具	ＬＥＤバルーン投光器一式 （株式会社ライトボーイ　ＬＢ０３０ＣＳ　専用ハードケース付）	１式
29	ハンドライト	サルベージャー２８０ＤＴ	６個
30	拡声器	ＴＯＡ　ＥＲ－１１０６Ｗ	３個
31	軽量空気ボンベ	６.８ℓ・３００㎏/㎠　圧力指示計付	６本
32	カーナビゲーション	ＨＤＤ式 バックモニター兼用	１式
33	三角コーン	伸縮式　反射材、点滅灯付	５個
34	携帯警報器	スーパーパスⅡ	５個
35	ライフジャケット	浮力１２ｋｇ相当 背面「勝山市消防」ネーム入り 反射材付　Ｌサイズ５着	５着
36	ホースバッグ	６５ｍｍ、５０ｍｍ兼用２本収納 ※要協議	１０本
37	ホースバンド		５個
38	耐電手袋・長靴	渡部工業高圧ゴム手袋　540ＵＮ型大 渡部工業高圧ゴム長靴　7000Ｖ対応	２組
39	コードリール	３０ｍ　防雨型	１個
40	発電機	ホンダ　EU-16i	１個
41	ＣＡＦＳ用ノズル	ガンタイプ	２個
42	ＣＡＦＳ用泡薬剤	２０ℓ	５缶
43	ＣＡＦＳ用泡薬剤（トレーニング用）	１０ℓ	６缶
44	LED 合図灯	約φ３６×５６cm	４本
45	折りたたみ表示板	「事故」表示、「消防活動中」表示 各反射板付	各１枚
46	三角表示板		１個

（4）その他の付属品

Ｎｏ	品　名	内　容	数　量
1	ポンプ工具		１式
2	タイヤチェーン	金属製（シングルタイプ、締めバンド、ケース付）	１組
3	スタッドレスタイヤ	ホイール付（シルバー）	６本
4	スペアタイヤ	スタッドレス（ホイル付）	１本
5	フロアマット		１式
6	コンプレッサーオイル	２０ℓ	２缶
7	コンプレッサーオイルエレメント		２個
8	コンプレッサーエアエレメント		１個

勝山７

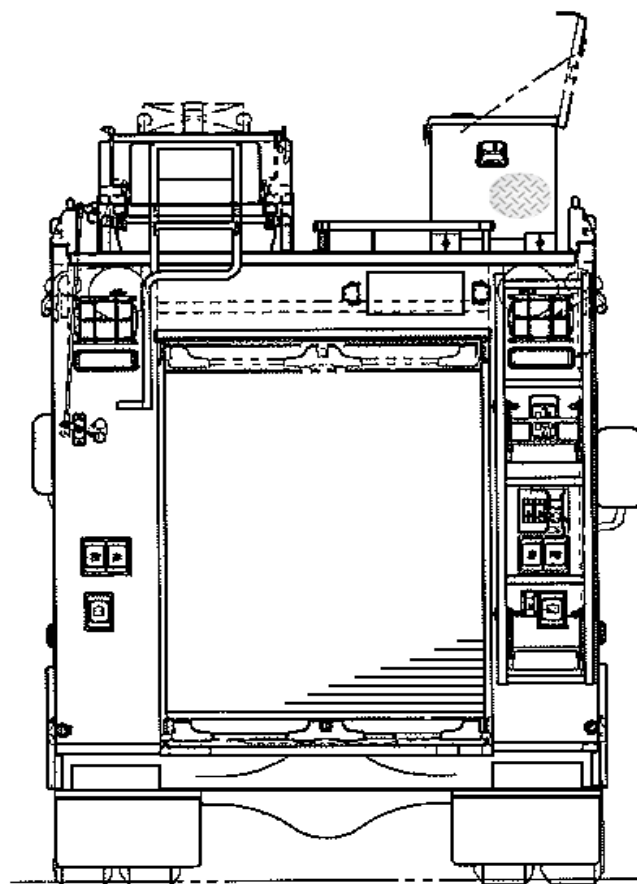
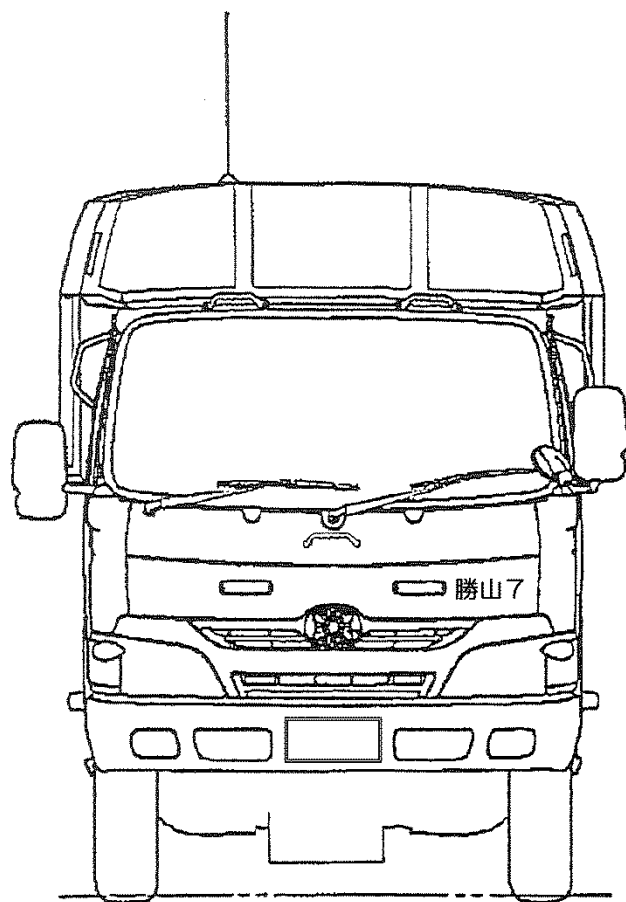
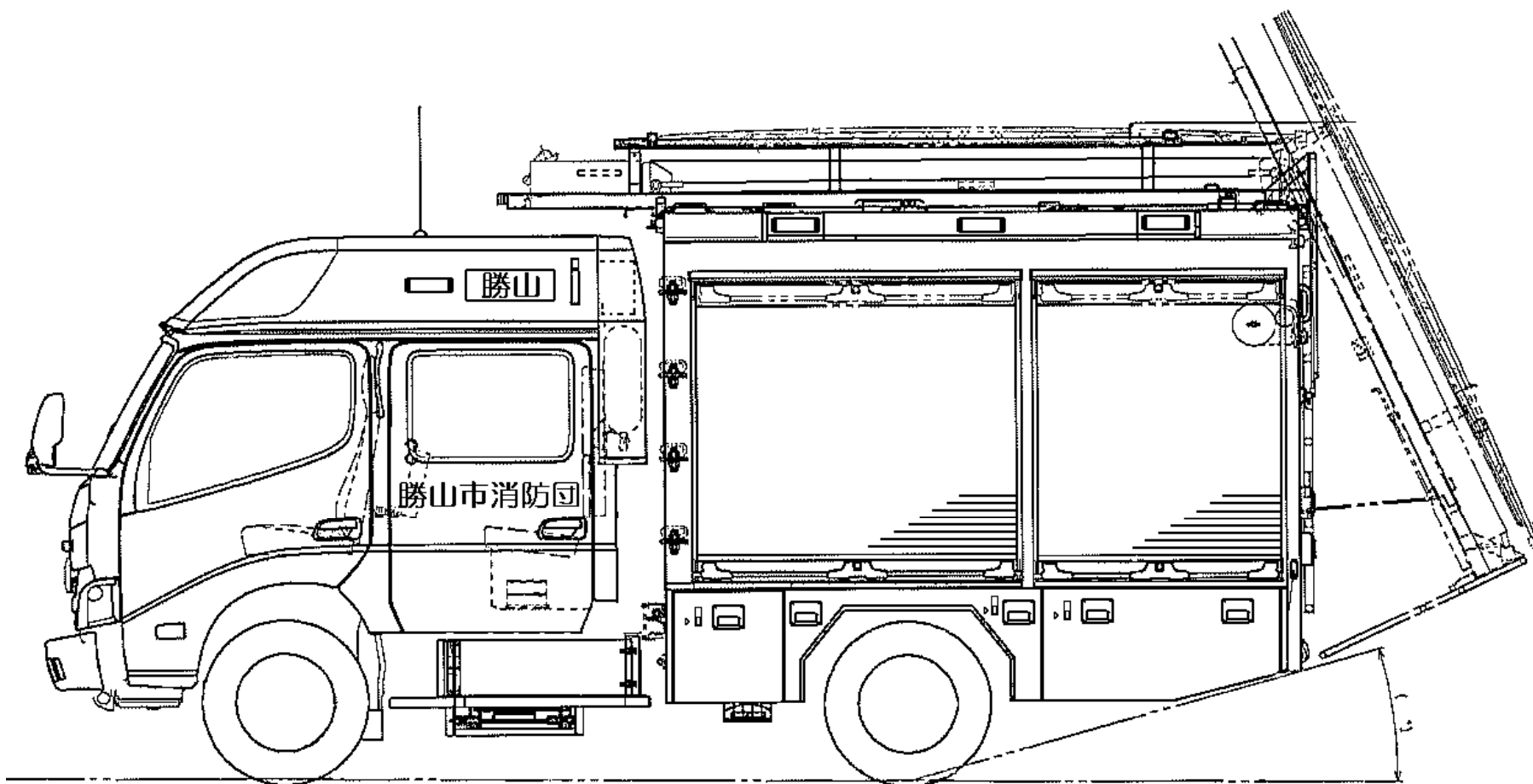
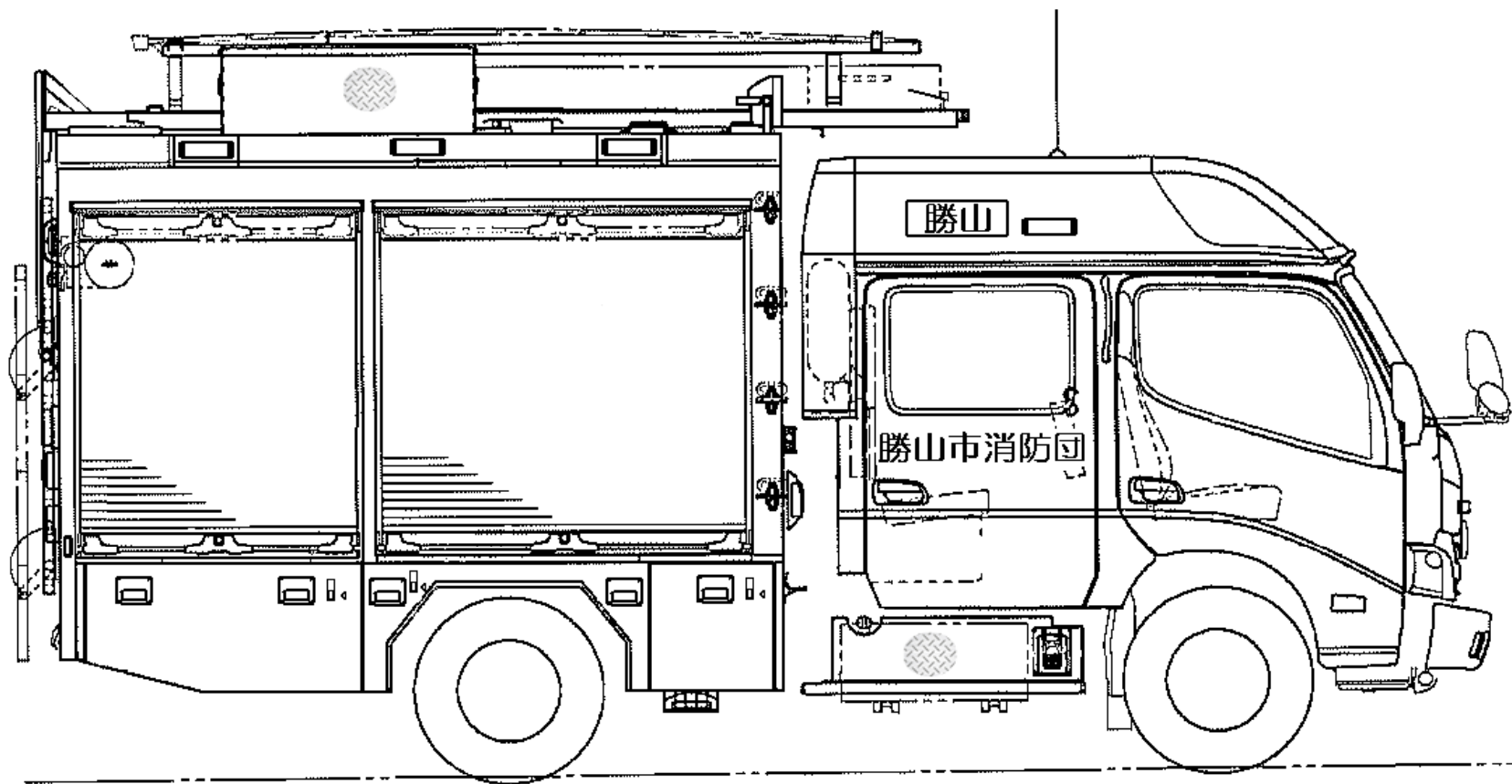
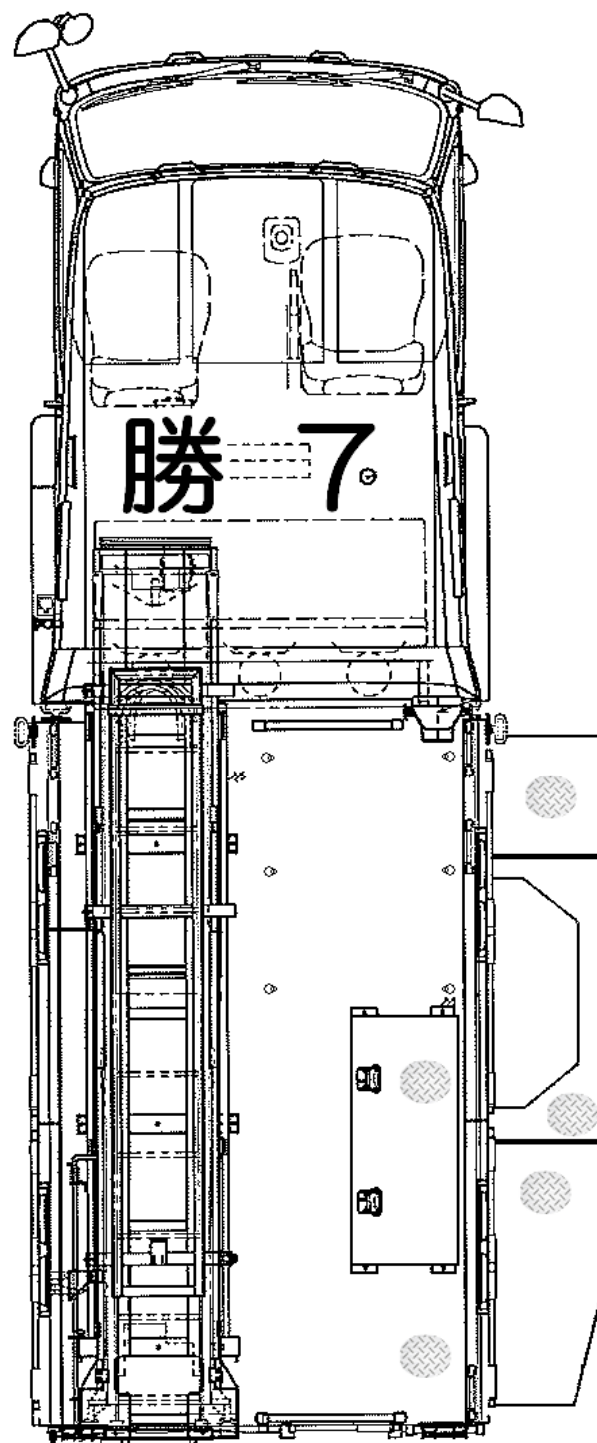
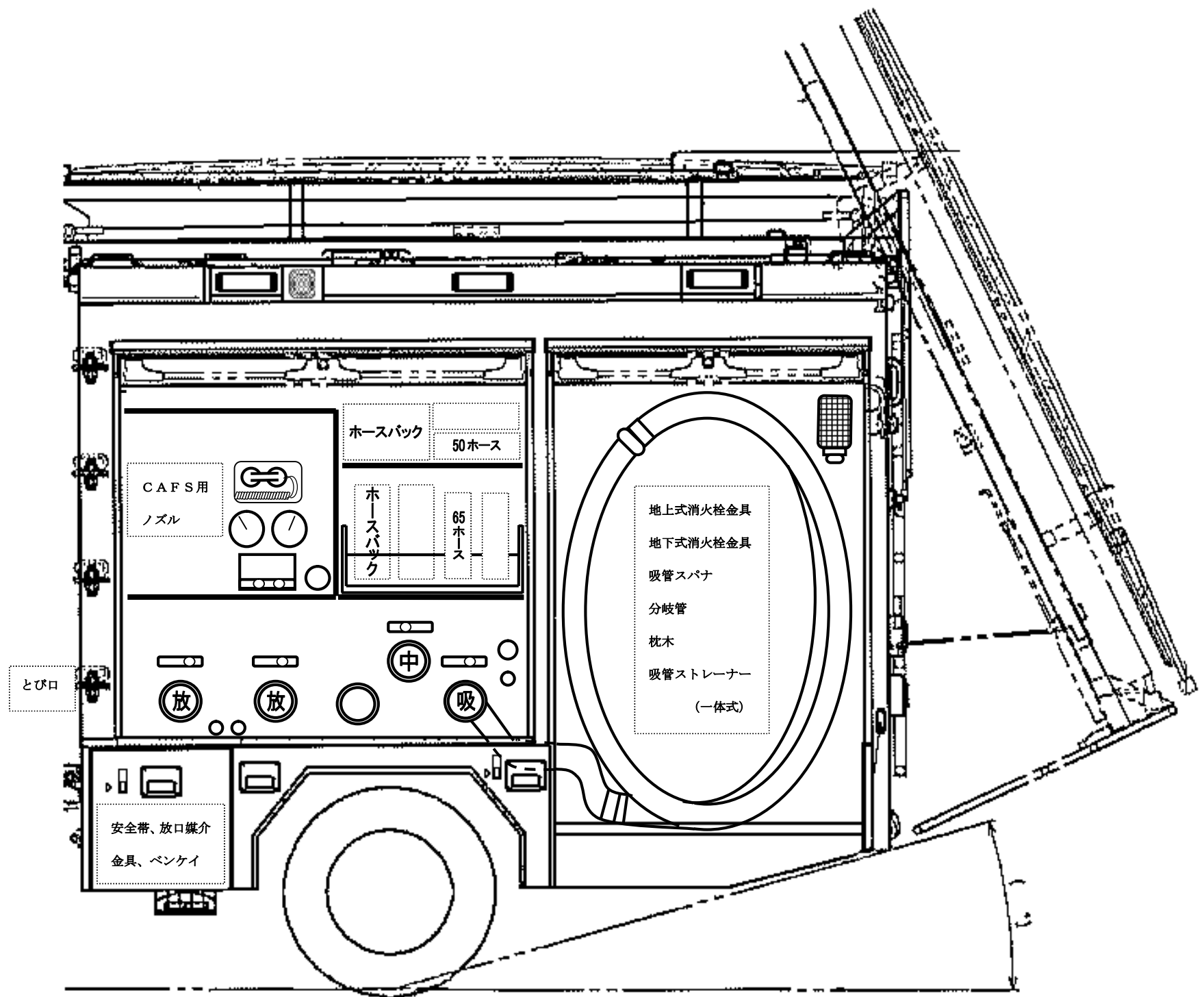
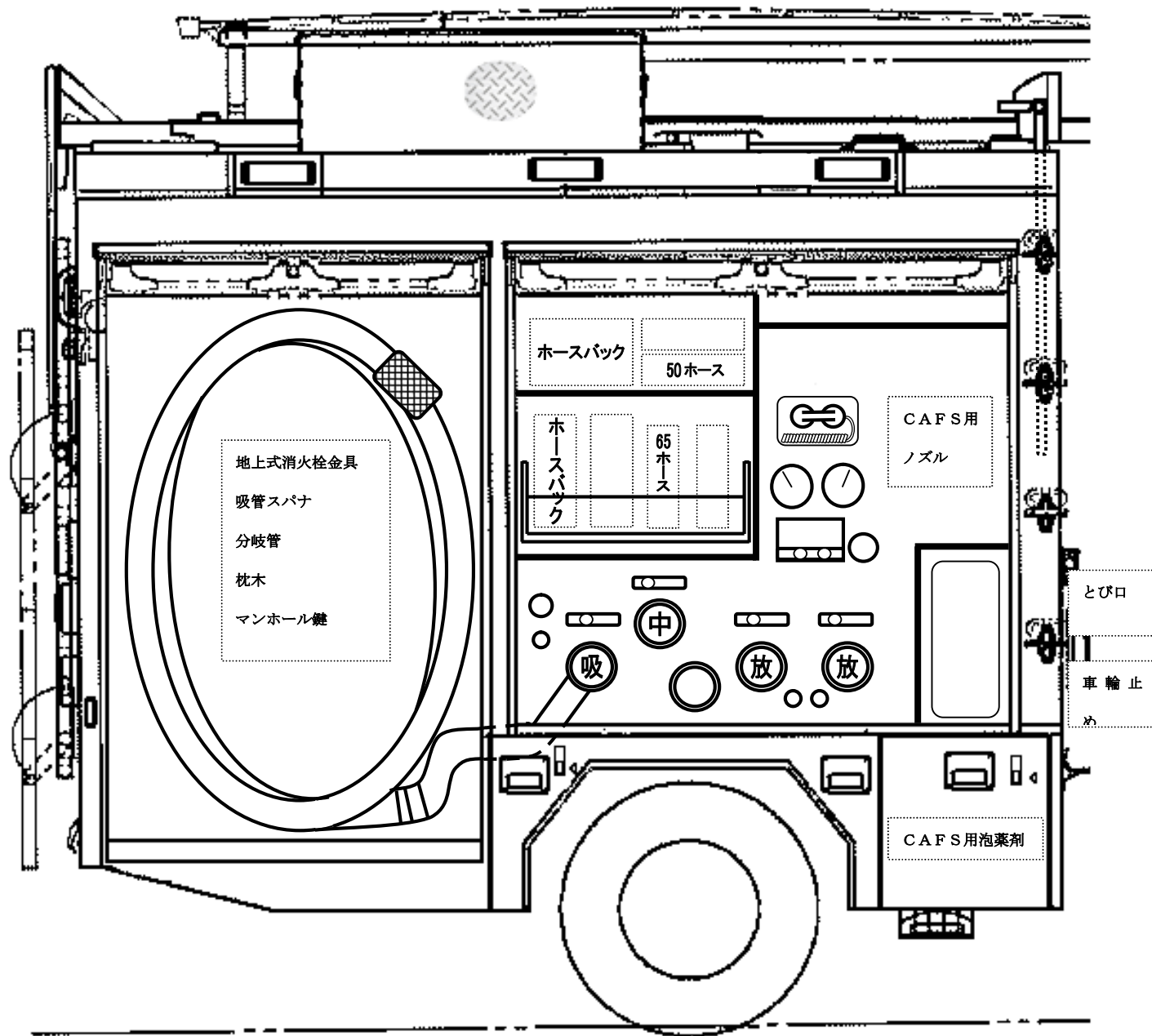
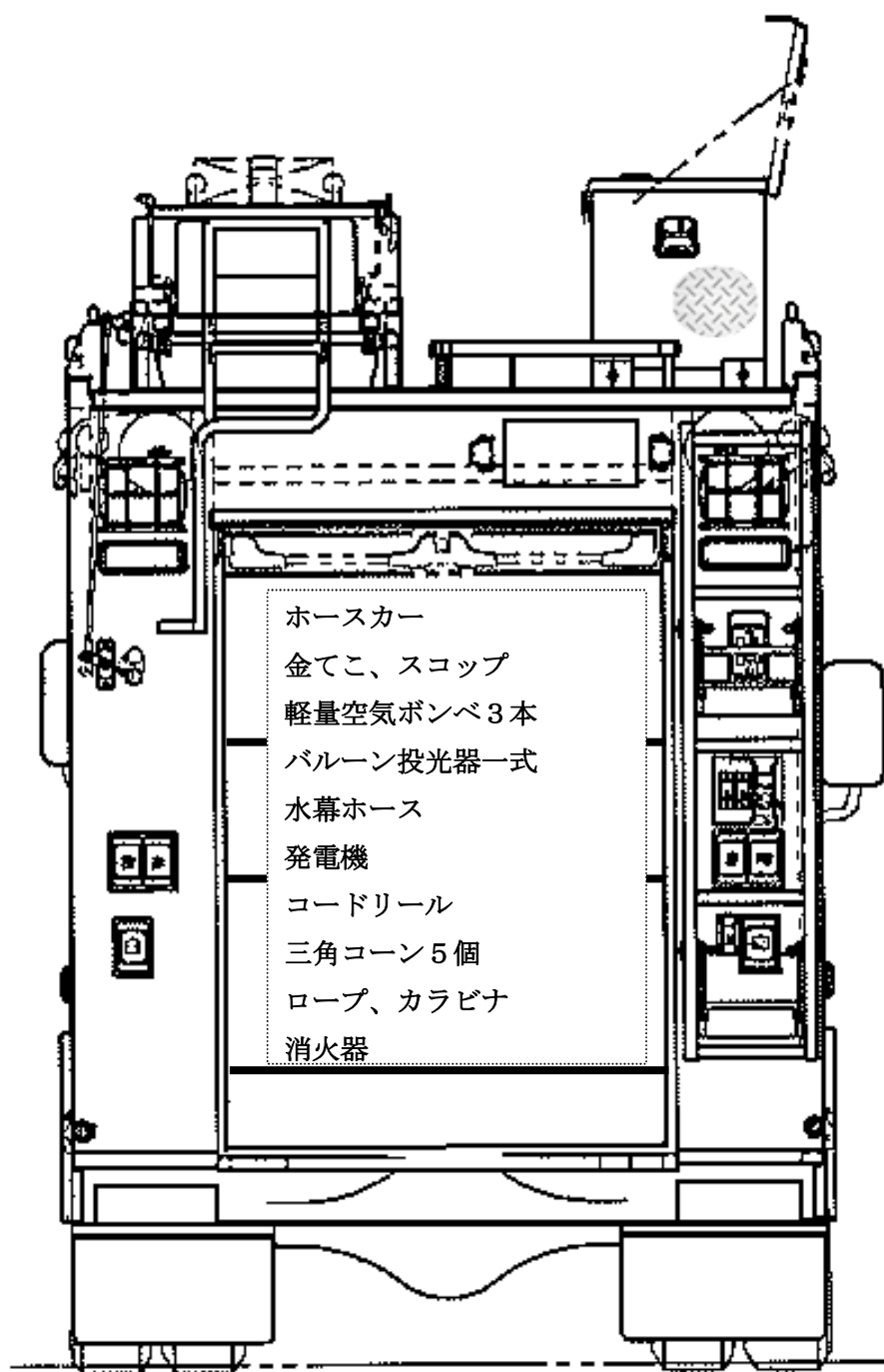
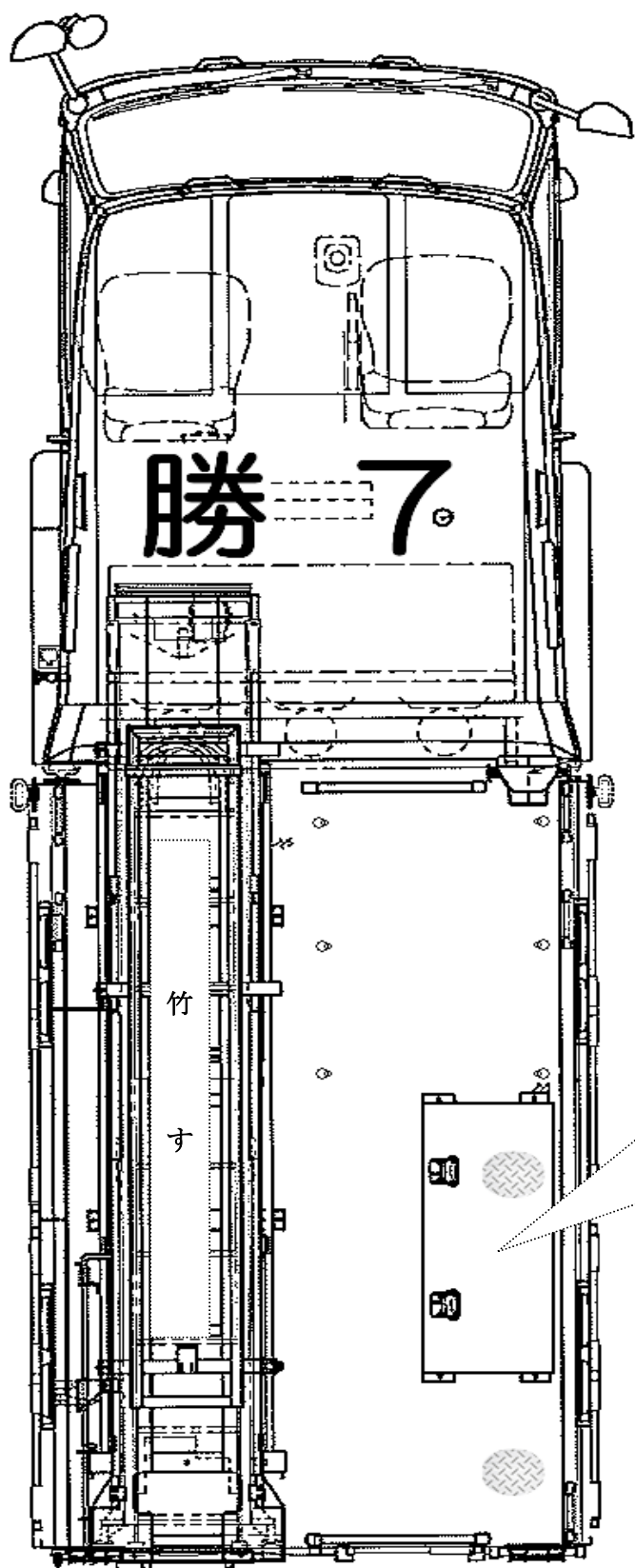
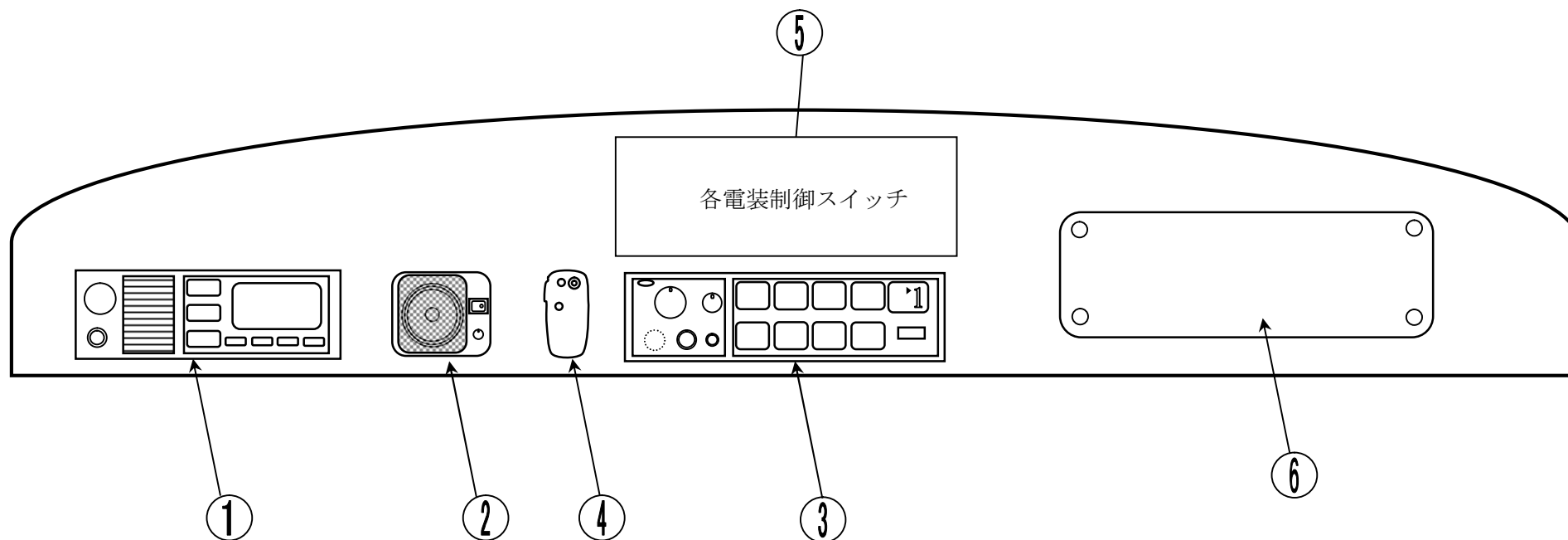
勝山
勝山市消防団

勝山
勝山市消防団

勝 7

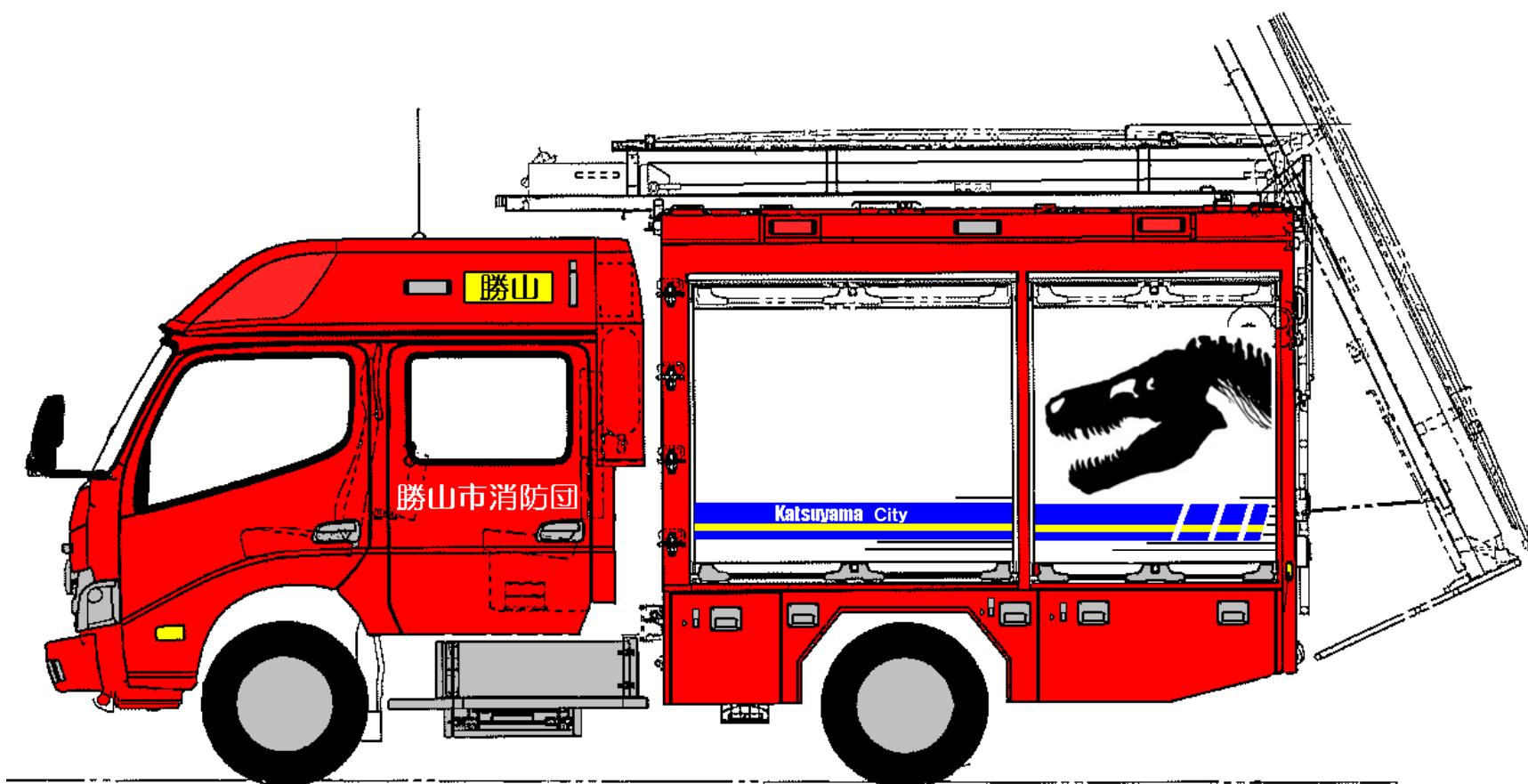
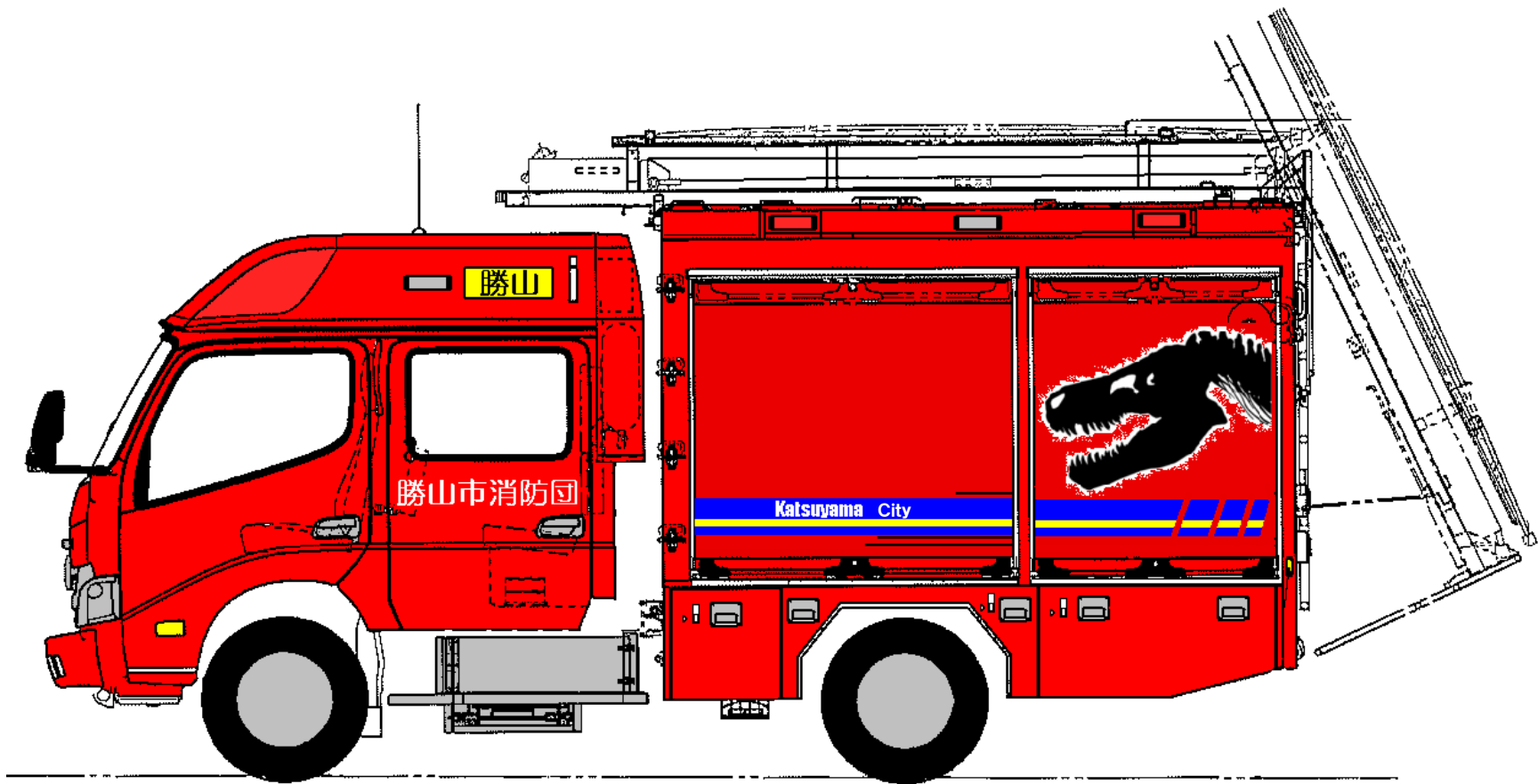
ホースバック
50ホース
CAFS用
ノズル
ホースバック
65ホース
地上式消火栓金具
地下式消火栓金具
吸管スパナ
分岐管
枕木
吸管ストレーナー
（一体式）
中
放
放
吸
とびロ
安全帯、放口媒介
金具、ベンケイ

地上式消火栓金具
吸管スパナ
分岐管
枕木
マンホール鍵
ホースバック
50ホース
ホースバック
65ホース
ＣＡＦＳ用
ノズル
中
吸
放
放
とびロ
車 輪 止 め
ＣＡＦＳ用泡薬剤

ホースカー
金てこ、スコップ
軽量空気ボンベ３本
バルーン投光器一式
水幕ホース
発電機
コードリール
三角コーン５個
ロープ、カラビナ
消火器

高発泡泡原液２缶
ラインプロポーショナー
泡ノズルアタッチメント
防炎シート
耐電手袋・長靴
予備管そう
ワイヤーロープ

番号	
①	無線機
②	室内スピーカー(荷台スピーカー切換えスイッチ及び音量調節機能付き)
③	電子サイレンアンプ
④	サイレンアンプ用マイク
⑤	各電装制御スイッチ
⑥	ヒューズボックス

勝山
勝山市消防団
Katsuyama City

勝山
勝山市消防団
Katsuyama City

様式第１号（第４条関係）

〔郵便入札用〕

入　　　札　　　書

平成２５年　５月３０日

勝 山 市 長 殿

住　　　　所
商号又は名称
代表者職氏名

下記のとおり、貴市の入札条件を承諾のうえ、入札します。

１．入札金額（税抜）

金	億	千	百	十	万	千	百	十	一	円

２．入札案件番号　　　Ｎｏ．　４００６

３．入札件名　　　　　消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）